

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 065	提案機関名 JAかながわ西湘 いちじく運営委員会
要望問題名 いちじく園地における株枯病について	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 株枯病発生のある園地がある。収穫量に影響し、園地が菌の汚染により新規植え付けても、感染し生育不良となる。対策の試験研究をお願いしたい。 また、圃場での台木(イスキアブラック)による検討も実施しているので、指導および台木の有効性の調査も併せてお願いしたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> 1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	果樹花き研究部
対応区分	実施 実施中 継続検討 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 イチジクの株枯れ病に関しましては、大阪府環境農林水産総合研究所・栽培園芸グループの研究成果として抵抗性台木が選抜され、足柄地区事務所からの要請により、選抜された抵抗性台木「イスキアブラック」の分譲依頼、導入を進めました(平成20年1月)。また、農林水産省の実用技術開発事業による愛知県との共同研究で、同抵抗性台木を用いた「榊井ドーフィン」苗を養成しており、現地試験への提供も可能と考えられます。 共同研究の中でイチジクの株枯れ病対策に関連する研究成果が得られた際は、直ちに情報提供するとともに、本苗を用いた罹病圃場での抵抗性台木の有効性試験に関して、足柄地区事務所とともに現地調査に協力いたします。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			